

表 2. PG (+) タマホコリカビ属の形態的特徴の比較

微小 (−1 mm) 子実体；房生

種名	子実体		孢子		分布	頁
	先端の形	PG	平均的な大きさ (μm)			
<i>D. polycephalum*</i>	単純か複合のヤリ状かこん棒状	散在	6.1 ~ 6.8 × 3.5 ~ 4.0		暖地性	22

\*. 25°C で培養した場合；20°C では子実体形成が遅れる

小型 (−2 mm) 子実体；群生，まれに偽束性；基部はこん棒状

種名	子実体		孢子		分布	頁
	先端の形	PG	平均的な大きさ (μm)			
<i>D. minutum</i>	単純のこん棒状か棒状、時々毛状	見にくい塊状、しばしば見られない	4.8 ~ 5.9 × 2.8 ~ 3.6		やや寒地性	6
<i>D. microsporum*</i>	単純の棒状かヤリ状	少ないが目立つ	3.6 ~ 4.6 × 2.0 ~ 2.5		寒地性	23
		大きい孢子では目立つ塊状	4.8 ~ 5.4 × 3.1 ~ 3.8			
<i>D. polycarpum</i>	単純のヤリ状	散在で見やすい	9.0 ~ 9.9 × 3.6 ~ 4.0			24

\*. 必ず大きい孢子が少し混ざる

中型 (−3.5 mm) 子実体；群生、しばしば偽束生；基部はこん棒状，時々不規則

種名	子実体		孢子		分布	頁
	先端の形	PG	平均的な大きさ (μm)			
<i>D. parvisporum</i>	単純か複合の典型的なこん棒状	少ないが目立つ	4.2 ~ 5.5 × 1.9 ~ 2.6			25
<i>D. monochasiooides</i>	単純のこん棒状か棒状	目立つ塊状	5.2 ~ 6.1 × 3.1 ~ 3.7		暖地性	26

大型 (−6 mm) 子実体；群生；先端は複合のこん棒状

種名	子実体		孢子		分布	頁
	色	基部の形	PG	平均的な大きさ (μm)		
<i>D. delicatum</i>	暗所で無色	こん棒状	目立つ塊状	5.6 ~ 6.6 × 2.9 ~ 3.3	やや寒地性	28
<i>D. aureo-stips var. aureo-stipes</i>	柄が暗所で黄金色	球根状		5.6 ~ 6.5 × 2.7 ~ 3.4	暖地性	27

大型 (−6 mm) 子実体；群生；熟すと孢子塊は茶色っぽい黄緑色か紫；基部は典型的な指状

種名	子実体		孢子		分布	頁
	先端の形	PG	平均的な大きさ (μm)			
<i>D. rhizopodium</i>	単純の典型的な頭状	目立つ塊状	5.6 ~ 6.3 × 2.9 ~ 3.4		暖地性	29
<i>D. lavandulum</i>	単純の棒状から棍棒状		6.1 ~ 6.7 × 3.0 ~ 3.6		暖地性	30